

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 藤本

山 名	多紀連山		山行名	ゆっくり山行 No.18	
ルート	御嶽道登山口→御嶽→小金ヶ嶽→御嶽道登山口				
山行日	2025 年 10 月 2 日		天 候	晴れ	
参加者	CL:藤本	SL:川田	永井	合計: 3 名	
	コースタイム				
	地名		時:分	地名	
	登山者駐車場	集			
		発	8:30		
	御嶽	着	10:18		
		発	10:43		
	小金ヶ嶽	着	12:13		
		発	13:03		
	登山者駐車場	着	14:44		

山行報告

奇跡と爆笑、そして幻のヒルを追え！小金ヶ嶽・三嶽アドベンチャー報告！🔮🌟

序章：開かずの扉🔒とクリハンターズ👤の悲劇

今回の山行は、ある意味で**「ミッション・インポッシブル」**から始まりました🚀！

駐車場から民家をすり抜けるステルスミッションはサクッとクリア😎！しかし、次の関門、獣よけフェンスがまさかの**「開かずの扉」**！🔑「え、これネジ外さないとムリ系？🔪」

「マジかよ、よじ登るしかないか…🧗」と、大人3人がフェンスの前で頭をひねり、しばし沈黙。…と、その時！フェンスを「ちょっと上に持ち上げてみた」ら…スルスル〜っと開いたんです（爆笑）🔥！「なんだよ、これ！😂」「まさかの上下運動オチ！」と大爆笑で、奇跡の脱出成功！いざ、山道へGO！🏃‍♂️🏃‍♀️しかし、山道に入った途端、我々のミッションは**「三嶽へのひたすらな登り」から「幻の絶品栗を追え！」へと急変。そう、我々は「栗ハンターズ」**と化しました！👤🔍「栗！栗〜！あそこ！👀」「小さい！👀」「虫食い〜！🐛」

「残念栗👤ばっかりじゃないか！」落ちているのは、まるで我々を試すかのようなチビで不健康な**「残念栗👤」**ばかり。食べごろの「リッチ栗👤」は、いったいどこに隠れているのか…！😭

中盤：山全体がテーマパーク🎢！ロッククライミング天国へ

奇跡と爆笑、そして幻のヒルを追え！小金ヶ嶽・三嶽アドベンチャー報告！🔮🌟

三嶽からは、文字通り景色が一変！小金ヶ嶽までは、もはや登山ではなく巨大アスレチック！目の前に現れるのは、岩、岩、鎖、鎖のオンパレード！🧗‍♀️ここは本当に山ですか？まるで山全体がクライミングウォールと化した**「山岳テーマパーク」**のよう！🏰

楽しい〜！キャー！👧」「これ、最高かよ！」と、終始「奇声(?)」をあげながら、童心に帰ってよじ登りまくり！🧗‍♀️

そして、登りきった山頂で見た景色は、もう…感動の「最高！」の絶景🌟！これがあるから、山登りはやめられませんね！💯 苦労なんて一瞬で吹っ飛んでいきました！🧗‍♀️

終盤：道迷いと「ヒル温泉」🔥の消滅

さて、問題は下山！ヤママップ先生も警告していた「道迷いしやすい」ルート。案の定、やっちゃいました（笑）。🗺️➡️🧑‍🚶

道から外れた瞬間、私の頭の中で鳴り響く**「落ち着け…」の呪文（自己暗示）**！🙏

冷静に地図を確認し、「沢沿いだけは絶対ダメ！👤🔴」「無理そうなら山頂に戻る！」という鉄の掟を心に刻み、なんとかメジャールートに復帰！今回は山頂Uターンを回避しました！ホッ😌。

その後はアスレチックな道を抜け、沢沿いを下るルートへ。しかし、そこはなんともいえない日陰の**「薄暗〜い、陰鬱な雰囲気…」**👻。ええ、正直言って…趣味じゃないっす（笑）。👉 今回も怪我なく、爆笑と奇跡と絶景に満ちた楽しい山行でした！👏また次の山へ！🌄👉

ヒヤリハットなし

【感想文】

永井

山行案内の「岩場を乗り越えた先には絶景が」「ゆっくりとしたペースで」を見て参加を決めた。コースは多紀連山の主峰二嶽（御嶽）～小金ヶ嶽を経由する周回ルート。特に小金ヶ嶽は奇岩露出の山容で、久々の岩場・鎖場を楽しんだ。山頂では 上空に広がるいわし雲から季節の変化が感じられた。

小金ヶ嶽からの下りルートは判りにくく、下山道を探す事になったが CL の先導によりルートを見つける事ができた。暫らく進むとルート沿いの沢に合流。沢沿いを進むが豪雨の影響と思われる土砂崩れや倒木で、歩きづらい状況が下山口まで続いた。今回は右回りの周回だったが、左周りの選択はリスクが大きいと思う。

下山口から駐車場までの集落道沿いには、栗や柿の木 風になびくススキが見られ、ここでも秋を感じて気持ち良い山行だった。CL・SL さん お世話になりありがとう御座いました。

